



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日

上場会社名 三共生興株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 井ノ上 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 日野 尚彦 (TEL) (06)6268-5188
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,963	14.3	1,344	30.0	1,750	23.1	1,261	10.0
2023年3月期第2四半期	8,720	13.7	1,034	19.4	1,422	22.1	1,146	△6.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,719百万円(765.9%) 2023年3月期第2四半期 660百万円(△51.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	31.26	—
2023年3月期第2四半期	26.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	58,829	43,782	73.9
2023年3月期	52,998	40,150	75.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 43,458百万円 2023年3月期 39,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	7.9	2,300	2.8	3,000	3.0	2,300	4.3	57.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	56,000,000株	2023年3月期	58,000,000株
2024年3月期2Q	16,116,882株	2023年3月期	16,411,718株
2024年3月期2Q	40,357,525株	2023年3月期2Q	43,253,025株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかな回復傾向が見られた一方で、地政学リスクの高まりを背景とした資源価格の高騰や世界的な金融引き締め等による景気の下振れリスクが懸念されており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、商業施設等への人流回復や入国制限の緩和に伴うインバウンド需要の復調などにより市場環境は回復基調で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、3ヶ年の中期経営計画「CHALLENGE NEXT 100」の最終年度を迎えるにあたり、「アジア市場」「DX推進」「全社戦略」を中心とした基本戦略を推し進め、外部環境の変化を踏まえた積極的な事業投資を行い、着実な売上拡大、企業価値向上に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比14.3%増の9,963百万円、営業利益は前年同期比30.0%増の1,344百万円、経常利益は前年同期比23.1%増の1,750百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10.0%増の1,261百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

英国「DAKS」、フランス「LEONARD」ブランドを軸に、国内をはじめ、中国・香港・マカオ・台湾・韓国・タイなどのアジア市場を中心に、積極的に旗艦店をオープン、ブランド価値向上を目指し、グローバルにブランドビジネスの拡大を図っております。

国内におきましては、「DAKS」「LEONARD」を百貨店などに販売する国内グループ会社において、この10月、「LEONARD」の旗艦店となる表参道店をオープンするなど、ブランド価値向上に注力し、また、プロパー販売を重視することによる粗利率の向上に努めております。当期は、首都圏を中心とした百貨店の売上高増加など市場環境の回復にも後押しされ、「LEONARD」の店頭販売が比較的好調に推移いたしました。一方、利益面につきましては、新規出店に向けた費用などが発生し、増収となりましたが微増益となりました。

海外におきましては、「DAKS」「LEONARD」などを展開するアジア市場において、ブランドビジネスの拡大を推し進めております。香港では、この7月に「DAKS」「LEONARD」のニューコンセプトショップをオープンいたしました。当期は、香港、マカオの直営店では、中国との往来再開に伴う旅行客の増加や台湾においても主力店舗を中心に堅調に推移し、増収となりました。また、前年度に当社グループに加わったLEONARD FASHION SAS(以下、LEONARD社)も、売上高の増加に寄与しております。利益面につきましては、国内と同様に新規出店による費用や広告宣伝費などの増加はありましたが、増収増益となっております。

なお、LEONARD社のグループ化に伴って、のれん等の償却負担が発生している影響もあり、ファッション関連事業全体では増収ながら減益となっております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比21.4%増の4,583百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比6.1%減の963百万円となりました。

② 繊維関連事業

製品OEM事業においては、受注競争が加速する中、取引先との取り組み強化に努めており、当期はライフスタイル分野を中心とした主要得意先との取引が堅調に推移したことや、新規取引先の開拓などもあり増収となりました。生産体制においては、チャイナプラスワンとして東南アジアでの生産に着手するなど、安定した生産体制、商品供給網を構築すべく生産背景の拡充、強化に取り組んでおります。

前年同期は、急激な円安によるコスト高などの影響を受けましたが、粗利率の改善に努めた結果、増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.7%増の4,726百万円、セグメント利益(営業利益)は302百万円(前年同期は26百万円のセグメント利益)となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業は、稼働率が安定的に推移しており、イベントホール事業の成約件数の増加や、内装工事事業の工事件数の増加などもあり、増収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.6%増の1,167百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比30.3%増の413百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,570百万円(7.9%)減少し、18,274百万円となりました。これは、現金及び預金が2,142百万円減少した一方で、商品及び製品が584百万円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて7,400百万円(22.3%)増加し、40,554百万円となりました。これは、投資有価証券が5,630百万円増加、商標権が464百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて444百万円(6.6%)増加し、7,139百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が630百万円増加したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,753百万円(28.5%)増加し、7,906百万円となりました。これは、繰延税金負債が1,581百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3,631百万円(9.0%)増加し、43,782百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が3,500百万円増加、為替換算調整勘定が899百万円増加した一方で、利益剰余金が662百万円減少したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて2,145百万円減少(前第2四半期連結累計期間は3,479百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末には、12,196百万円(前第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は12,934百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が1,750百万円、減価償却費の計上額が464百万円となった一方で、棚卸資産の増加額が554百万円あったことなどにより、1,663百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は903百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が802百万円、投資有価証券の取得による支出が600百万円あったことなどにより、1,737百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は1,381百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出が1,068百万円、配当金の支払額が1,039百万円あったことなどにより、2,356百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は3,084百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,365	12,222
受取手形及び売掛金	3,724	3,554
商品及び製品	1,443	2,028
仕掛品	0	3
原材料及び貯蔵品	6	6
未収還付法人税等	27	8
その他	279	450
貸倒引当金	△2	0
流動資産合計	19,845	18,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,498	6,452
土地	2,950	2,950
使用権資産（純額）	786	1,089
その他（純額）	127	763
有形固定資産合計	10,362	11,256
無形固定資産		
商標権	4,881	5,345
その他	777	856
無形固定資産合計	5,658	6,202
投資その他の資産		
投資有価証券	16,477	22,107
退職給付に係る資産	8	8
その他	663	996
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	17,132	23,095
固定資産合計	33,153	40,554
資産合計	52,998	58,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,848	2,479
短期借入金	2,820	2,820
1年内返済予定の長期借入金	98	87
リース債務	274	402
未払金	144	183
未払費用	717	547
未払法人税等	156	206
その他	635	412
流動負債合計	6,694	7,139
固定負債		
リース債務	561	742
繰延税金負債	4,253	5,835
退職給付に係る負債	310	291
長期預り金	810	798
その他	216	239
固定負債合計	6,153	7,906
負債合計	12,847	15,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,106	6,111
利益剰余金	30,747	30,085
自己株式	△6,958	△7,123
株主資本合計	32,895	32,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,384	11,884
繰延ヘッジ損益	△17	34
為替換算調整勘定	△1,443	△544
退職給付に係る調整累計額	11	9
その他の包括利益累計額合計	6,935	11,384
非支配株主持分	319	324
純資産合計	40,150	43,782
負債純資産合計	52,998	58,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	8,720	9,963
売上原価	5,219	5,354
売上総利益	3,501	4,609
販売費及び一般管理費	2,466	3,264
営業利益	1,034	1,344
営業外収益		
受取利息	2	40
受取配当金	286	309
為替差益	79	67
その他	44	15
営業外収益合計	412	433
営業外費用		
支払利息	9	18
その他	14	8
営業外費用合計	24	27
経常利益	1,422	1,750
特別利益		
助成金収入	18	—
特別利益合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	1,440	1,750
法人税、住民税及び事業税	216	375
法人税等調整額	67	104
法人税等合計	284	480
四半期純利益	1,156	1,270
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,146	1,261

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,156	1,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△649	3,500
繰延ヘッジ損益	25	51
為替換算調整勘定	130	899
退職給付に係る調整額	△2	△2
その他の包括利益合計	△495	4,448
四半期包括利益	660	5,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651	5,709
非支配株主に係る四半期包括利益	9	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,440	1,750
減価償却費	301	464
のれん償却額	—	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△2
受取利息及び受取配当金	△288	△349
支払利息	9	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△183	227
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△206	△554
仕入債務の増減額 (△は減少)	243	578
役員退職慰労金の支払額	△86	—
役員賞与の支払額	△69	△75
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△25	△28
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47	△22
その他	△281	△403
小計	901	1,623
利息及び配当金の受取額	288	349
利息の支払額	△9	△18
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△276	△291
営業活動によるキャッシュ・フロー	903	1,663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△295
有形固定資産の取得による支出	△47	△802
投資有価証券の取得による支出	△200	△600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,132	—
その他	△0	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,381	△1,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△51
自己株式の取得による支出	△1,849	△1,068
配当金の支払額	△1,068	△1,039
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
リース債務の返済による支出	△162	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,084	△2,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	82	285
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,479	△2,145
現金及び現金同等物の期首残高	16,414	14,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,934	12,196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,749,200株の取得を行っております。これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,068百万円増加しております。

また、当社は、2023年5月15日開催の取締役会決議に基づき、2023年6月8日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施しております。これにより、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ884百万円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が30,085百万円、自己株式が7,123百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,776	3,965	978	8,720	—	8,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	303	78	382	△382	—
計	3,777	4,269	1,056	9,102	△382	8,720
セグメント利益	1,026	26	317	1,369	△334	1,034

(注) 1. セグメント利益の調整額△334百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△291百万円及びセグメント間取引消去等△43百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ファッション関連事業」において、当社はLEONARD FASHION SASの全株式を取得し、同社及びその子会社6社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては414百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,581	4,297	1,084	9,963	—	9,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	428	83	513	△513	—
計	4,583	4,726	1,167	10,477	△513	9,963
セグメント利益	963	302	413	1,679	△334	1,344

(注) 1. セグメント利益の調整額△334百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△269百万円及びセグメント間取引消去等△65百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。